

受験者募集

# 医業経営管理能力検定

「大学生が医療の現場で用いられる医療および医業経営の基礎知識を学ぶために」

未来へ



公益社団法人

日本医業経営コンサルタント協会

Japan Association of Healthcare Management Consultants

〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15 ホスピタルプラザビル5階  
フリーコール 0088-21-6996 TEL 03-5275-6996 FAX 03-5275-6991

[www.jahmc.or.jp](http://www.jahmc.or.jp)

# [ 医業経営管理能力検定 ] の意義

わが国は国民皆保険制度を通じて、平等でアクセスがよく安価で質の高い医療を国民に提供し、その結果、世界最高レベルの平均寿命と保健医療水準を持続してきている。

ところが現在、未曾有の少子高齢化社会を迎え、2025年までこれが拡大の一途を辿ると想定されており、医療・保健・介護・福祉の充足や連携等の問題に加え、増大する医療費による国の財政的な問題にも直面している。

この益々複雑化する社会状況の中、医療・保健・介護・福祉を連携させ、施設を健全で安定的に運営して行くことは、国のみならず各施設にとっても大きな課題である。

一方で従来の医業経営は、必ずしも経営の専門的教育を受けた人々によって経営されてきたとはいえず、社会においても、また各施設においても経営の専門家の必要性が今まで以上に高まっている。

医業経営管理能力検定制度は、上記の課題を解決する人材を育成するため、公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会と、この制度に賛同する大学と学生のための検定制度である。

学生各位におかれては、この検定を受験されることで医業経営の分野にかかる知識を高められ、日本の医療・保健・介護・福祉の健全な発展に寄与し、それぞれの将来の活躍の場を広げる機会と捉えて頂きたい。



公益社団法人

日本医業経営コンサルタント協会

Japan Association of Healthcare Management Consultants

公益研修部会 医業経営管理能力検定

# [ 医業経営の将来を担う人材を養成 ]

指定校の学生は、医業経営に関する講義を受講することで、医業経営の基礎知識を専門的に学び、「医業経営管理能力検定」でその実力を見定めることができます。さらに、医業経営の専門資格である「認定登録 医業経営コンサルタント」取得に向けての準備段階にもなっており、基礎を固めた上で資格取得に挑戦できます。

## 将来像

### 認定登録 医業経営コンサルタント資格

医療・介護・福祉に係わる経営体等からの依頼を受けて、経営診断・戦略策定・顧問活動等の経営支援業務を行う職業専門家。登録にあたっては、筆記試験（一次）、論文試験（二次）に合格し、認定後も所定の研修履習義務によって、資質の向上を図っている。

### 医業経営管理能力検定

医療および医業経営関連企業、さらには医業経営コンサルタント資格の取得を目指す学生の検定。「認定登録 医業経営コンサルタント」へ飛躍できる検定試験として注目を浴びている。

## [ 講義内容 ]

医業経営管理能力検定の受験資格は、指定校の学生で、医療・医療制度・政策、地域医療計画・地域介護計画、財務管理論、人事労務管理、経営管理、あわせて30時間の受講によって医業経営の基礎知識を習得した者とする。

### I. 医療・医療制度・政策

1. 医療史、医療経営史
2. 医療制度
3. 医療保険制度
4. 高齢者医療
5. 診療報酬制度
6. 介護保険制度
7. 医療経済の動向
8. 医学と医療

### II. 地域医療計画・地域介護計画

1. 地域完結型医療・介護活動
2. 医療提供における医療計画の位置づけ
3. 需要形態、提供形態、利用形態
4. 現在の医療計画と介護計画
5. これからの医療計画と介護計画
6. 関連調査・報告

### III. 財務管理論

1. 医業財務
2. 医療機関の会計
3. 病院の開設主体
4. 管理会計分野における手法
5. 医業経営指標
6. 医療機関の資金調達
7. 医療機関と税金

### IV. 人事労務管理

1. 医療専門職人事
2. 労働関係法規
3. 医療施設におけるアウトソーシングと雇用関係

### V. 経営管理

1. 病院の目標管理と戦略
2. 病院の経営
3. 病院の施設管理 (FM: ファシリティマネジメント)

願書送付先、能力検定試験に関するお問い合わせ

(公社) 日本医業経営コンサルタント協会 医業経営管理能力検定係

〒102-0075 東京都千代田区三番町 9-15 ホスピタルプラザビル5階  
フリーコール 0088-21-6996 TEL 03-5275-6996 E-mail kentei@jahmc.or.jp

# [合格者の声]

## 医療で社会に貢献できる人材になる

川崎医療福祉大学  
医療福祉マネジメント学部  
医療福祉経営学科

川上 永璃香



私がこの医療経営管理能力検定を受けた理由は、2つあります。1つ目は、医療機関で働く上でこの知識が役に立つと思ったからです。そして2つ目は、この検定を取得することで、これまで学んできたことを証明することができると思ったからです。

私は将来、医療機関で働きたいと考えています。その上で、医療経営管理能力検定を取得することは必要だと思います。なぜなら、私自身この検定を取得するためにテキストを読み込み、医療経営に関する知識がより深まっただけでなく、今までの総復習ができたので、病院の問題点やこれからの課題と、経営に関する知識を結びつけることができたからです。これは医療機関で働く上で必ず役に立つと確信しております。

私はこの知識を活かして医療に、ひいては社会に貢献していきたいと思っています。そして、医療経営は時代とともに変わっていくので、これからも学び続けていきたいと思っています。

## これからの時代に必要な知識が学べます

川崎医療福祉大学  
医療福祉マネジメント学部  
医療福祉経営学科

小坂 成紀



この検定は、大学で学んだ授業の総復習であり、この検定に合格したということは、医療と経営の知識があるという証明になると思います。この検定では、医療の制度政策や財務管理、人事労務管理、経営管理といった分野の知識が必要になってきます。いずれも病院の経営に必要な知識ばかりになっています。

現在、病院の約8割は赤字であると言われていています。このような厳しい状況の中で、病院はどのように戦略を立てて経営していくのかということが極めて重要になってきます。この分野の知識がなければ戦略など立てられません。今後も少子高齢化が進み、医療のニーズはさらに高まってきます。この検定で知識を総復習することによって、社会に出たときにその力を発揮する場が必ずあるはずです。

また、特に、病院に就職を希望する人は取っておいて損はない検定だと思います。医療の知識とともに経営の知識も学べる。これからの時代に必要な検定だと思います。

## 今後の高齢社会に向けて備えておくべき知識

川崎医療福祉大学  
医療福祉マネジメント学部  
医療福祉経営学科

小寺 雄貴



この認定資格はまだ新しく、本学は指定校として受験できる数少ない大学です。この検定を受けることによって、医療分野の制度・政策や医療保険制度など基本的なことを学ぶことができるため、医療福祉経営学科の学生にとっては、総復習として頭の中の整理ができます。また、医療制度等の基本を学んだうえで、財務管理的な知識、さらには経営的思考を身につけることができると思います。つまり、医療制度・政策等を踏まえた上での経営的視点を学べるということは、医療福祉分野においては、非常に重要なことであると考えます。

さらに、超高齢社会を迎えている現在、地域包括ケアシステムの中で、在宅という意識が強くなってきています。今回の検定では、なぜ、在宅という意識が強くなってきているのかを考えさせられる試験でもありました。今後、2025年・2035年問題に対して、今、何ができるのか自分で考えていく必要があります。その考える基本となる認定資格だと思います。

## 現代のビジネス・パーソンとしての素養を測る試験

日本福祉大学  
経済学部経済学科

井上 愛菜



私は、医療・福祉に関する専門知識と、経済・経営に関する幅広い教養やビジネススキルを習得するために、日本福祉大学経済学部に入學いたしました。大学入学後、現在の学びの場を活かし、医療経営に関する専門的な知識の幅をさらに広げていきたいという向上心から、医療経営管理能力検定試験を受験することを決意いたしました。私が通う日本福祉大学は、医療経営管理能力検定試験の指定校になっていますが、指定校の学生として受験するためには、医学や財務管理など、試験に関わる幅広い要件科目の単位を修得する必要があります。幅広い科目にわたる受験勉強は大変でしたが、何としてでも在学中に合格すると心に決めていました。

実際に試験を受験して実感したことは、指定校である大学のカリキュラムを活用し、適切に受験準備をすることが肝心であり、とりわけ試験本番で、諦めずに問題文をしっかりと最後まで読み、理解することができれば合格は可能ということです。

現在、少子高齢社会が進展していく中で、医療・福祉分野の経営問題を解決しうるコンサルタントとしての基礎能力は、医療・福祉分野のみならず、他の分野でも必要不可欠なビジネス・パーソンとしての素養であると思われる。これまで学んだ知識を活かし希望の職業に就ける。これから就職活動を頑張っていきたいと思っています。

## 地域の健康と安心を守りたい

日本福祉大学  
経済学部経済学科

中島 圭祐



私は日本福祉大学経済学部において、医療・介護・福祉領域に関する専門的知識と、それらの領域に関わる施設等のマネジメントを中心に学んでおります。入学後2年が経過した頃、私が通う日本福祉大学が医療経営管理能力検定(以下、検定)の指定校に認定されたとのアナウンスを受け、検定を自らの実力を測る良い機会だと捉え受験を決意いたしました。

私が所属するゼミの授業をはじめ、大学での講義内容それ自体が、検定の学習範囲と非常にマッチしていたため、まずはそれらの授業内容に一生懸命取り組むことから始めました。勉強に励む過程で、医療経営において必要不可欠な知識が次第にしっかりと身に付いていくことを日々実感するようになってるとともに、医療機関において「地域の人々の健康と安心を守るような仕事がしたい」と強く感じるようになり、将来の進路について医療機関で事務職に就くことを明確に志すようになりました。

検定に向けての受験勉強を通じて得られた知識を活かし、将来的には、医療機関での業務を通じて、地域の方々の安心と健康を守り続けていくことが、現在の私の目標となっています。

## 知識・経験を蓄積するための基盤として

広島国際大学  
医療経営学部 医療経営学科

國貞 貴大



医療経営学科に入学して以降、臨床医学、医療制度、医療情報、簿記会計、経営資源管理など、医療と経営の双方について多くのことを学んできました。その中で医療単体、経営単体については自身の実力を知る機会が一般の資格試験等によってあった一方で、『医療経営』に関してはあまりそうした機会がありませんでした。そこで受験したのがこの医療経営管理能力検定です。医療だけではなく、また経営だけではなく、あくまでも『医療経営』の知識が必要とされるこの試験の勉強は、今まで習った物事の復習となり、合格したことで、自分の実力を知ることができ、自信につながりました。

医療現場および医療関連機関で活躍するためには、この資格は第一歩でしかありません。資格取得のために修得した知識は、今後の勉強や現場での経験を蓄積していくうえで、基盤として大きな意味を持つでしょう。この資格を足掛かりに知識や経験を深め、今後起きうる医療問題への解決に尽力していきたいと思っております。

## 現場に必要なバランス能力のために

広島国際大学  
医療経営学部 医療経営学科

山田 雄大



私は広島国際大学医療経営学部医療経営学科で「医療経営」という学問を学んでいます。「医療経営」で求められているものは、医療と経営という一見相容れないもののように思えるこの二つの要素のバランスを取ることであり、患者さんのためにより良い医療を提供することを追求しながらも、収益をあげて安定的な医療機関の経営を行っていくという難しい課題を解決していかなければなりません。この医療経営管理能力検定は、臨床医学の分野から経営分野まで幅広い分野の問題が出題されることから、総合的な知識が必要となるため、様々な分野の知識が要求される医療経営の現場で働こうとしている人間にとって、相応しい資格だと私は思います。

私は、この資格で学んだ知識を基に診療情報管理士などの病院管理系、医療経営系の資格取得をめざしています。「医療経営」を学ぶ最初の目標として是非チャレンジしてみてください。

## 医療経営の充実に寄与するために

保健医療経営大学  
保健医療経営学部 保健医療経営学科  
施設経営コース

小野 太一



私は3年間、保健医療経営大学で医療経営について学んできました。医療経営の必要性を感じ、将来は医療経営に携わる仕事に就きたいと考えます。そのため、私はこの資格取得にチャレンジしました。

私の勉強方法は、指定の教科書や参考書を読み、授業で学んだことと照らし合わせ、大事だと思ったことをノートにまとめてゆきました。

日本の医療環境は複雑に変化しているため、絶えず医療提供体制を対応させる必要があり、今後もっと医療経営の知識が必要になると考えます。さらに、厚生労働省の病床機能分化により、経営が難しくなっており、患者様に選んでもらえる医療提供体制の構築が重要であると考えます。将来、さらなるスキルアップとして医療経営コンサルタントの資格取得を考えています。患者様と医療機関にメリットのある医療経営の充実に寄与していきたいです。

# JAHM C

## 専門的な知識の土台として

保健医療経営大学  
保健医療経営学部 保健医療経営学科  
施設経営コース

田島 誠一郎



私がこの検定を受けようと思ったのは、既に受験に必要な科目をすべて履修していたので、医業経営に関する基礎知識をどこまで理解できているのか知りたかったからです。

私が合格するためにしたことは、テキストを何度も読み直すこと、先生たちが用意した予想問題を解くこと、そして、友達と問題を出し合いながら勉強することです。こうして勉強をしていく中で、今まで見落としていたところ、苦手としていたところを発見、克服することができました。また、医業経営の将来に必要なことについてほんの少しですがわかったような気がします。

病医院の経営の健全化・安定化を目指していくためには、専門的な知識が必要です。この医業経営管理能力検定はその専門的な知識の土台となり、必要不可欠なものであると思います。私自身この検定を通して学んだことにもっと磨きをかけ、病医院の経営の健全化・安定化に寄与することができる人材になり、様々な医療の現場での活躍を目指していきたいと思います。

## 検定で得た知識を活かしたい

保健医療経営大学  
保健医療経営学部 保健医療経営学科  
施設経営コース

馬場 智美



私は、2年次に開講された保健医療経営学概論を受講した際に、先生から医業経営管理能力検定があるということを知り、そのとき初めてこの検定について知りました。そして、この保健医療経営学概論で検定のテキストを使っていたこと、講義で学んだことをしっかりと定着させたいという思いから検定を受けることに決めました。

検定を受けるにあたり、テキストを使った授業の試験問題を繰り返し解いて、間違えたところはテキストで確認して定着させました。また、大学がこの検定のために開いてくださった復習講座に積極的に参加しました。このおかげで合格できたのではないかと思います。授業を担当した先生方や復習講座を開いてくださった先生に感謝の気持ちでいっぱいです。検定を通して得た知識を今後勉強していく過程で活かしていけたらと思います。

## 検定で学んだ事を病院の現場の仕事に

保健医療経営大学  
保健医療経営学部 保健医療経営学科  
施設経営コース

藤木 友和



私がこの資格を取得しようと思った理由は、就職のためです。今後、高齢化がますます進む病院の経営は大切になっていく時代、医療機関に就職するなら医療や経営の知識を知っておく事が大切であると考え、医業経営管理能力検定を受験しました。合格に向けての勉強は、テキストや補助資料を使って重要なところに線を引いて勉強しました。勉強するにつれて少しずつ内容が分かるようになりました。

この資格は、今まで大学で受講した講義の復習にもなり、病院に就職するからには大事な資格だと思えます。2年間大学生活を送っていますが、これが初めての資格取得であり、就職には資格が重視されているので、大学生のうちに様々な資格に挑戦したいと思っています。また、3年生の夏休みには施設実習があるので、この検定や大学の講義で学んだ事を活かしながら病院の現場の仕事を学び、さらに就職してから重要となる、人との関わり方やコミュニケーション能力なども身に付けていくつもりです。

# [ 医業経営管理能力検定 ]

## [ 受験指定校制度 ]

### 医業経営管理能力検定

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会では、これから社会で活躍する大学生を対象とし「医業経営管理能力検定」を行っています。

この検定は、医療および医業経営の基礎知識を習得し、病医院の経営の健全化・安定化に寄与する者の育成が目的です。将来的には、医療機関、医業経営コンサルタントなど、様々な医療の現場での活躍を目指します。

「医業経営管理能力検定」を受験するためには、協会が認定した指定校において、定められた講座を履修する必要があります。

### 指定校制度

協会による審査の上、指定校を認定します。認定された場合、協会の指定校となり、権利と義務を遂行します。

認定された大学の学生は、必要なカリキュラムを受講することで在校中に「医業経営管理能力検定」を受験することができ、合格者には「医業経営管理能力検定合格者カード」が発行されます。

### 受験資格・受験料

受験資格：指定校の学生で、所定の講義を受講し、医業経営の基礎知識を習得した者（受験に際しては履修証明書を提出）

試験：年1回

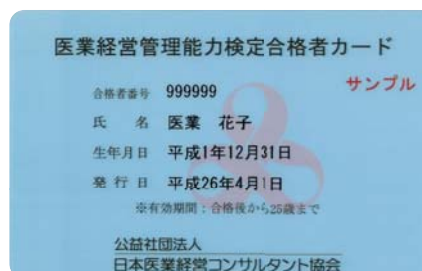
受験料：5,000円

認定料：5,000円（合格後）

## 検定合格者の特典

### 医業経営管理能力検定合格者カードの発行

- ・日本医業経営コンサルタント学会をはじめとする各種行事等へ参加できます(参加費:1,000円、資料代として)。
- ・医業経営コンサルタント資格の取得を目指す方には、受験資格を得るための指定講座テキスト・DVDを無償提供します(1回限り)。



## 公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会とは

### 医の原点をささえる

～公益社団法人として社会に貢献します～

当協会は平成2年11月1日、厚生大臣より社団法人として設立認可されて以来、約3000名の会員を擁する組織となり、内閣総理大臣から公益社団法人の認定を受け、平成24年4月1日に公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会に移行いたしました。

当協会の目的は、より良い地域社会の発展に貢献するために医療・保健・介護・福祉に関する調査・研究等を推進し、医業経営に係わるコンサルタントの水準の確保と資質の向上を図ると共に医業の社会公共性を経営面から支援活動することにより、医業経営の健全化・安定化に資することにあります。

これらの活動を通じて、より良い地域社会の発展に貢献するとともに、健康で文化的な国民生活に寄与してまいります。



公益社団法人

日本医業経営コンサルタント協会

Japan Association of Healthcare Management Consultants

〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15 ホスピタルプラザビル5階  
フリーコール 0088-21-6996  
TEL 03-5275-6996 FAX 03-5275-6991  
<http://www.jahmc.or.jp>